

千葉県生協連活動報告

子ども食堂「からべえ」を見学しました

ふくし推進委員会は、2月10日（土）に、なのはな生協が地域と一緒に運営する子ども食「からべえ」を見学し、9名の参加がありました。運営に携わっている方々から、設立までのプロセスや特徴・工夫などを聞き、それらの実態を知ることによって、生協と地域社会との連携・かかわりかたなどについて、学習することができました。



はじめに、なのはな生協の理事長、副理事長、専務から子ども食堂の設立の経緯や運営について説明がありました。良部地区社会福祉協議会、民生委員、市民の方々が一緒に「子ども食堂」をつくろうと話しあい、成田市組合員と相談し、市内を7～8か所まわり、自習ルームを開放してもらえる「加良部」に設立したことがわかりました。約30名のボランティアスタッフが交代で調理・運営にあたり、シフトは職員の方が調整しています。なのはな生協の取引先の生産者やメーカーから提供された食材をもとに、スタッフが手際よく調理をすすめています。調理を担当したスタッフの皆さんと懇談をおこないました。



働くお母さんの応援にもなっていると思います。

毎回楽しいです。みんな
で食べることで子どもたちのコミュニティ
の場になってきていると思います。

貧困問題というより、孤食をしない環境
づくりや「楽しいよね」と思う交流の場
になればいいと思います。



食文化も伝えていきたいです。

半年がたち、子どものリピーターも多く、
食事をとりながら、にぎやかに子どもどうしや
スタッフと話をするようになってきました。

今後は、ボランティアスタッフの輪を広げて
いくこと・学習支援をすること・子どもたちへ
の「食育」にもつなげていきたいと思ひます、
と抱負や課題も語ってもらいました。

